



# 教養・共通教育「全学共通科目」っていったい何？



みなさんは、所属する学部・学科にかかわらず、教養・共通教育として「全学共通科目」の履修が求められ、専門教育の前に、もしくは専門教育と並行しながら「全学共通科目」を学ぶことになります。

## 教養・共通教育の目的

「全学共通科目」では、「自由の学風」のもと、自ら考え、経験し、自由な対話を行うことを通じて、未知の課題を見出し、原理・原則からの探究を展開して、新たな知的地平を切り拓いていくことを奨励しています。

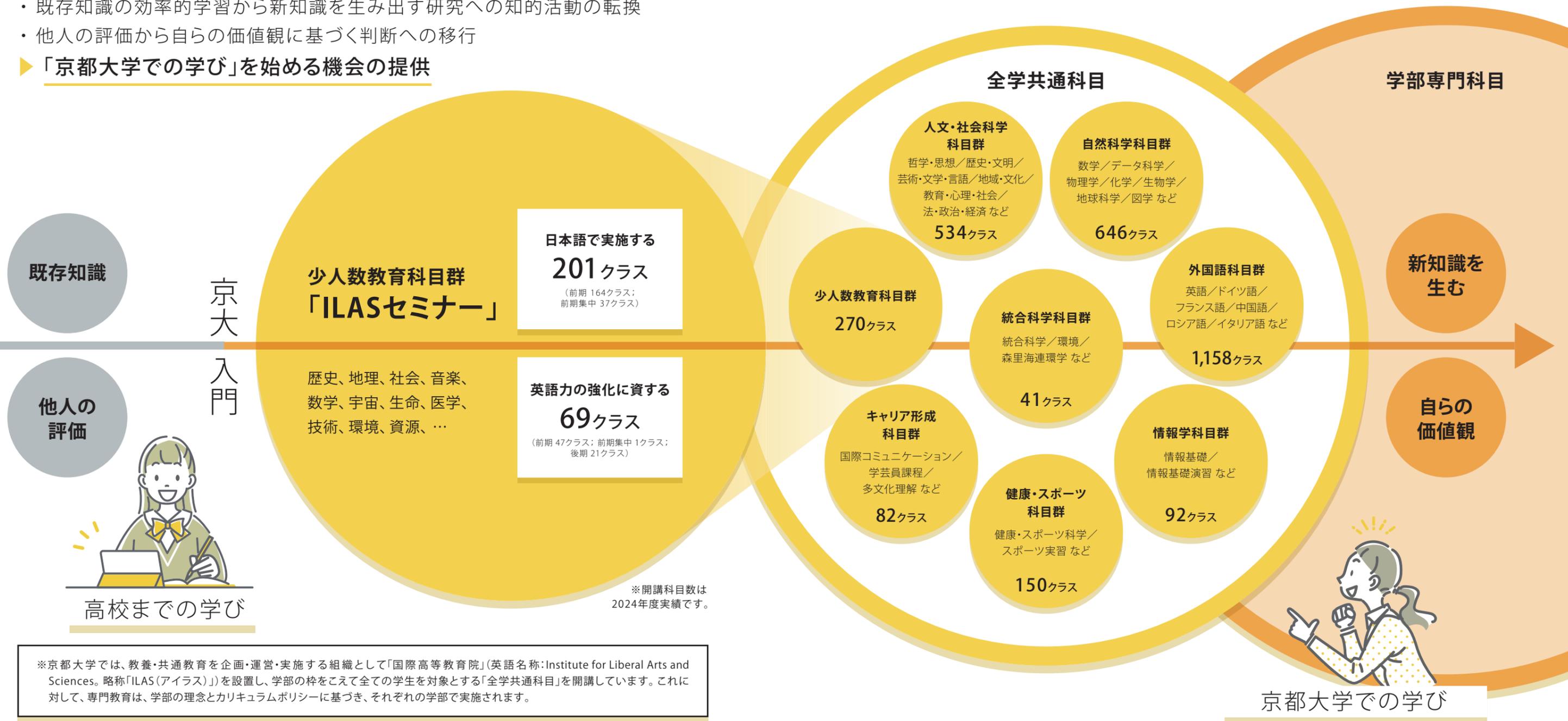
- ・ 既存知識の効率的学習から新知識を生み出す研究への知的活動の転換
- ・ 他人の評価から自らの価値観に基づく判断への移行

### ▶ 「京都大学での学び」を始める機会の提供

## 「全学共通科目」における8つの科目群

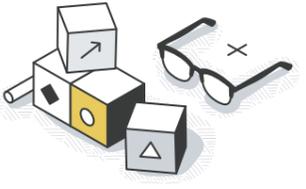
「全学共通科目」は、以下の8つの科目群で構成されています。

「全学共通科目」では、専門教育を受けるための基礎となる知力を育成するとともに、現代社会で重視される文理融合や異分野融合など、専門分野にとらわれない教育の機会を提供しています。



※京都大学では、教養・共通教育を企画・運営・実施する組織として「国際高等教育院」(英語名称: Institute for Liberal Arts and Sciences. 略称「ILAS(アイラス)」)を設置し、学部の枠をこえて全ての学生を対象とする「全学共通科目」を開講しています。これに対して、専門教育は、学部の理念とカリキュラムポリシーに基づき、それぞれの学部で実施されます。

# 「京大入門」ILASセミナーへの招待



## 少人数教育科目群「ILASセミナー」

ILASセミナーは、自律的課題発見・解決という学問のプロセスを体験し、学問の楽しさや意義を実感する場を提供します。大学での勉学生活への導入を図り、自分で実際に考え、読み、議論し、書くというプロセスを通じて、主体的な学習の意義を理解し、またアカデミック・スキルの基礎を獲得することを目標としています。

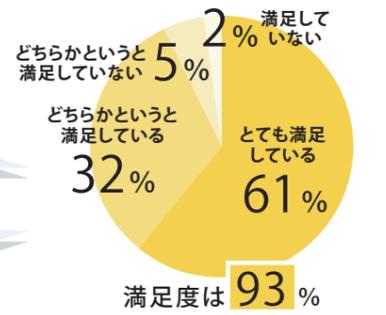
### ILASセミナーを履修する5つのメリット

1	学びの違いを体験	受験勉強から脱却し、問題を見つけ解決するという学問のプロセスを少人数(5人~25人程度)で行います。講義による知識の伝達ではなく、自ら学問することを学びます。
2	学びの場における仲間との相互作用	セミナーのテーマは文系・理系を問わず様々あり、専門分野以外のクラスを履修することも推奨されています。異なる学部や異なる回生の仲間ができて、教員と学生、学生どうしの議論・対話が生まれ、新たな知見が広がります。
3	学びの技法の養成	学生どうしの討論、教員の問いかけに答え、スライド・レポートを作成し発表することで、自分で実際に考え、読み、議論し、書く力が身につくでしょう。
4	常識や初歩からの跳躍	基礎から順に学ぶのではなく、少人数で教員と直接対話することで、興味に応じた専門への道標が示されます。あるいは、初歩からの跳躍を経験することにより、自分の進むべき方向を見つける機会ともなります。
5	挑戦の機会	ゼミナール形式の授業で、学生どうしの議論が真に機能するかは、特に1回生にとって簡単なことではありません。しかし、それも大学での学びの第一歩。その難しさを挑戦ととらえ、そこに踏み込んでみましょう。

### 先輩の声

ワクワクする授業がたくさんある！  
上回生になっても受講したいくらい。

普段学ぶ機会が少ない他学部の先生方の興味深いお話も聞くことができます。



※2024年度実施の学部2回生 進級時アンケートより

先生との距離感が近く、気軽に質問でき、先生方の深い知識からたくさんの刺激がもらえます。

少人数での対話や質疑応答を通してテーマを深掘りし、文献調査の基本的な方法も学べた。

## Pick UP!

毎年250以上の授業が開講されるILASセミナーの中から、3つの授業を紹介します。  
※ILASセミナー・ILAS Seminar-E2には、それぞれ副題(テーマ)がついています。

### ILASセミナー: ヨーロッパ中世史料入門

担当教員 さとうひとみ 佐藤 公美 教授(大学院人間・環境学研究科)

キーワード 歴史学 / 西洋史 / ヨーロッパ / 中世史 / 史料論

授業内容 中世ヨーロッパを代表する哲学者・神学者アベラールと、彼の恋人エロイズの書簡の現代語訳を題材に、中世ヨーロッパの歴史と人々の心を深く探求するセミナーです。

**ここが特色!** 中世ヨーロッパの社会や文化について理解を深めつつ、過去の「史料」と向き合い、読み解く力を養います。グループワークや発表を通して、様々な気付きを得るとともに歴史研究の基礎を身につけます。



### ILASセミナー: 鉱物の世界への誘い~鉱物好き、大集合!~

担当教員 しもばやし のりまさ 下林 典正 教授(大学院理学研究科)

キーワード 固体地球科学 / 鉱物 / 結晶 / 宝石 / フィールドワーク

授業内容 講義とともに、実際の鉱物サンプルを用いて実験・実習を行います。加えて、ミネラルショーへの参加、鉱物博物館の見学や野外での鉱物観察など、学外での課題活動を積極的に行います。授業の後半では、個別に設定した課題に対してプレゼンテーションを行います。

**ここが特色!** 学外での活動や実験・実習を積極的に行っており、実際の鉱物と触れ合う機会が非常に多いセミナーです。先生や仲間と一緒に、鉱物への理解を深めていきましょう。



### ILAS Seminar-E2: Computer simulations in Biology (生物学におけるコンピュータシミュレーション)

担当教員 BRANDANI, Giovanni・Bruno 特定講師(大学院理学研究科)

キーワード computer simulations / Python / numerical methods / reaction kinetics / gene expression

授業内容 プログラミング言語Pythonを使い、生物現象をコンピュータ上で再現します。例えば、病気の感染拡大や生態系の変化をシミュレーションします。最終プロジェクトでは、各自が選んだテーマについて研究発表を行います。

**ここが特色!** プログラミングや数理モデル、生物学など異なる分野の視点からトピックを掘り下げていく学際的な科目です。様々な分野の視点を組み合わせることで、新たな発見を目指します。



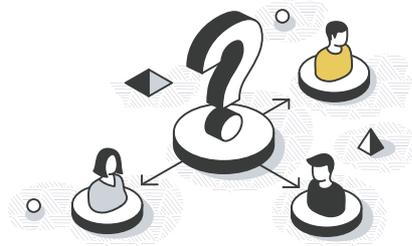
### 英語で実施するILASセミナーもあります!

ILASセミナーは大学での学びへの導入を図る少人数セミナーであるとともに、英語力の強化に資する「ILAS Seminar-E2」も数多く開講されています。少人数での対話を中心としたゼミ形式の科目で、これらは1回生前期から誰でも受講することができます。

### 京都大学の授業って?

京都大学のカリキュラムは、1年を前期・後期の2つの開講期に分けるセメスター制を採用しています。半期の授業は、1科目につき、授業14回+定期試験1回+フィードバック1回で構成されているのが標準です。

# ILASセミナー **履修** までの流れ



## 1

### 科目を探す

3月中旬よりアクセス可能になる「入学予定者サイト\*」でどんなILASセミナーが開講されるか、科目ごとの「キーワード」やシラバスから検索してみましょう。総合大学ならではの豊富なメニューが用意されています。

\*入学予定者サイトのアクセス方法は、入学手続き完了後に郵送される「入学案内」で確認してください。以下の抽選申し込みについても、「入学案内」で詳細をお知らせします。

## 2

### 抽選に申し込む

入学予定者サイトで第5希望まで抽選申し込みを受け付け、定員を超えた科目は無作為抽選となります。幅広い視野をもつきっかけとして、各自の専門分野と直接関係のない科目や個人的興味・趣味嗜好にかかわる科目を積極的に選択することもきっと有益でしょう。

## 3

### 当選科目の発表、時間割の確認

当選科目はメールでお知らせします。またその科目はあなたのWEB上の時間割画面にあらかじめ登録されていますので、第1回目の授業に参加しましょう。

## 4

### 履修登録の確定

数回授業に出席した後、必ず履修登録の確定を行ってください。

・新生が前期にILAS セミナーを履修する場合は、集中講義であるかどうかにかかわらず、入学予定者サイトまたはKULASISでの予備登録が必要です。

すべての新生がこのセミナーを積極的に履修し、「京都大学での学び」の始まりとされることを期待しています。



### 統合型複合科目 「京都大学での学び」をもっと広く、もっと深く!

ILASセミナーに加えて、学部新生を主な対象に開講される「統合型複合科目」は、文系・理系という垣根を越えた社会の諸課題からテーマを取り上げ、大学の学びへの転換を図る授業です。履修者が一堂に会する統合型講義と、少人数グループに分かれた演習がセット(週2コマ、4単位)になっています。こちらにも積極的な履修をお待ちしています。



京都大学  
国際高等教育院

京都大学国際高等教育院  
〒606-8501 京都市左京区吉田二本松町  
HP: <https://www.z.k.kyoto-u.ac.jp/>

ILASセミナーの詳細はこちら  
(国際高等教育院Webサイト)

